

## 春、はじめる一步：学問を創る脳

東京大学大学院総合文化研究科教授  
酒井邦嘉

**春**ほど、何か新しいことを始めるのに適した時期はない。それは、動物が長い冬眠から覚めるようなプログラムが、人間の脳にも刻まれているからなのかもしれない。

大人の脳の吸収力は、子どもには敵わない。幼児期の吸収力は、ほとんど理屈がわからなくても自然と身につけてしまう、「魔法」のような能力なのだ。ただし、吸収には適度な情報に繰り返し触れる事が必要となる。脳が成熟してからは、「自分には無理だろう」などと意識的に対象と接しがちなので、そのバリアさえ克服できれば、年齢に関係なく新しいことを習得できるに違いない。最近私は、フルートを習い始めた。そして、「口笛も吹けない自分が、フルートなど吹けるはずがない」という思い込みが、実は正しくないことを身を持って知ったのである。「**今からでは遅い**」のではなく、「**今はじめれば良い**」のだ。まずは、関心のある本を手にして、読書から学問への一步を踏み出したい。

